



幼稚園での動物とのふれあい

安心して暮らせるための
心豊かなまちづくりを

一般質問映像



すぎもり
杉森 賢二
議員

Q 人と動物が共生できる心豊かなまちづくりを

A 動物愛護、終生飼養に向けた普及啓発を図る

飼い主のいない犬・猫への対策は

問 亡くなっていた犬・猫の頭数や今後の対策は。

くらし環境課長 令和3年度までの3年間で犬3件、猫288件。国が示す多頭飼育対策ガイドラインを参考に県との連携を図りながら愛玩動物の

問 適正飼養を進めていく。獣医師会、町内動物病院との情報共有や連携は。

課長 駿東獣医師会、県東部保健所などと動物愛護の適正飼養に係る意見交換会を開催し、情報交換を行い連携を図っている。

問 町内学校や施設などアニマルセラピーの普及活動促進を。

課長 町内小学校の3年生を対象に盲導犬、介助犬を用い、命の尊さや共生社会の実現を目指し実施しており動物医療センターやNPO団体と連携を図るなどアニマルセラピーを必要としている方

との橋渡しを行っていく。

問 犬・猫殺処分ゼロの実現を。

課長 飼い主責任の徹底、モラルの向上を図りながら、獣医師会、動物病院、保健所などと連携し動物愛護、終生飼養に向けた啓蒙活動を継続的に実施していく。

Q 老後安心して暮らせるために介護体制の構築を

A 介護サービス量を的確に見込み、施設整備の検討を進める

将来安心な老後生活を

問 地域福祉活動とボランティア・サポーター活動の状況と計画は。

長寿介護課長 生活支援体制整備事業におけるサービスの担い手や認知症サポーターを養成するなど、高齢者の生活支援と

認知症についての普及啓発活動などを行っている。引き続き、住民ボランティアの育成と活躍できる機会を拡充する。

計画を策定していく中で国が提供する推計システムを活用しながら介護サービス量を的確に見込み、必要となる施設整備の検討を進める。

問 次期介護保険事業計画における特別養護老人ホーム、介護老人保健施設の整備の考えは。

課長 次期介護保険事業

計画における特別養護老人ホーム、介護老人保健施設の整備の考えは。

課長 施設整備では、令和3年度に事業者の公募

など、高齢者の生活支援と

進捗状況は。

和3年度に事業者の公募